

【生団連通信 Vol.17】**新・災害対策委員会 新型コロナウイルス対策支援団体の取り組みについて**

新・災害対策委員会を担当しております、生団連事務局の三浦です。

本日は新型コロナウイルスの感染拡大に関し、支援活動を行っている生団連会員団体の取り組みをご紹介します。

【特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン】（生団連会員）**空飛ぶ捜索医療団 “ARROWS” の取り組みについて**

- ◆2月中旬からこれまでに、備蓄していたマスク 37 万枚を日本全国 350 以上の医療・福祉・保育施設に配送
- ◆3月5日、災害支援用に備蓄していたトレーラー1台を大阪の病院に貸し出し、感染の疑いのある患者等発熱外来の待合スペースとして使用
- ◆3月13日、レスキュー用のエア Tent 1張を広島の病院に貸し出し、来院者の体温測定や渡航歴などの問診を行う「トリアージポスト」として使用

今後も、ニーズ調査を継続しながら、医療機関へのマスク提供や医療資機材の貸与を続けていく予定。

また、北海道・利尻島の要請を受けて感染患者の搬送支援を計画中。医療機関への医師派遣も検討中。

このほか、国際的なネットワークを有する ARROWS 傘下 3 団体の特徴を生かし、中国やアメリカ、アジア各国との情報交換を続け、国境を超えて相互に助け合う活動にも力を入れています。

【特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム】（生団連入会準備中）

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームは、上述の「特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン」を含む 7 つの加盟 NGO とともに「新型コロナウイルス対策緊急支援」について事業を行っています。

（以下、同団体発表内容抜粋、詳細は以下 URL よりご覧ください。）

先般より事業を行っておりました、「新型コロナウイルス対策緊急支援」について事業規模拡大と寄付のお願いについて、ご連絡申し上げます。

ジャパン・プラットフォームとしてもどのように活動を展開していくべきかを慎重に検討・議論した結果、事業地域を、日本国内を含めた新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される地域へ拡大することを決定いたしました。それに伴い、募集する民間資金も 5000 万円に拡大いたします。

<https://www.japanplatform.org/programs/china-coronavirus2020/>

なお、JPF 加盟 NGO との協議を通して、今後も事業規模の拡大が必要なのは明白であり、本事業にあたっては今後の支援活動のために少なくとも「5 億円程度」が必要となるであろうと予測しております。ウイルスに「国境」はなく脆弱な紛争地や難民キャンプを含む、地球規模でのグローバルな感染予防対策や支援が必要と考えております。

※尚、現在のところ原則物資によるご支援は承っておりません。ただし、今後ニーズが発生した場合は本メーリングリスト等で呼びかけさせていただく場合がございます。

【検討されている活動内容（審議中）】

- 日本国内——医療現場への物資提供、介護や教育現場における感染予防のための資材提供や啓発活動、生活困窮世帯への食糧支援、障がい関連団体等への衛生用品の配付、等
- 海外——休校中の子どもの心理的ケア、石鹼や消毒液の配布による感染予防、難民キャンプにおける衛生研修、等（南スーダン、シリア、アフガニスタン、バングラデシュ）

生団連はこれまで、新・災害対策委員会で自然災害発生時の支援などについて議論・検討してまいりました。

今回のような感染症拡大という状況は、新・災害対策委員会ではこれまで想定しておりませんでした。

今後はこれも私たちの活動対象と考え、会員内外のネットワークを活用し何かお役に立てないかと検討しております。

新型コロナウイルス対策に関しましても、皆様のご意見などいただければと存じます。